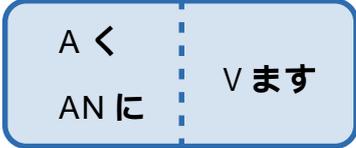


文-18

A < / AN に V ます



基 本

例 文

- ① ^{た なか}田中さんは^{な まえ}名前をていねいに
^か書きました。
- ② ^{しず}静かに^{べんきょう}勉強しましょう。
- ③ ^{せんせい}先生は^{すこ}少し^{はや}速く^{はな}話しました。
- ④ ^{そうじ}きれいに掃除してください。
- ⑤ ^{おお}もっと^か大きく書いてください。
- ⑥ ^{はや}早く^{あつ}集まってください。

解 説

A. 「A <」「AN に」は、^{しゅうしょく}V を修飾している。(例文①～⑥)

		^{めいし} ^{しゅうしょく} 名詞を修飾するとき	^{どうし} ^{しゅうしょく} 動詞を修飾するとき
^{けいようし} イ形容詞 (A)	おおきい	おおきいN	おおきくV
^{けいようし} ナ形容詞 (AN)	べんり	べんりなN	べんりにV

B. ある動作をしているときの様態を表す。(例文①②③)

C. ある動作をした結果としての様態を表す。(例文④⑤⑥)

先生へ

「A < / AN に V ます」の「A < / AN に」は、^{けいようし} ^{ふくしてきようほう}形容詞の副詞的用法。

「A < V ます」の^{けいようし} ^{かたち} ^{ちゅうい}形容詞の形に注意すること。

【関連項目】

- 文-39 A < / AN に / N になります
文-06 A いです / AN です
文-07 A い / AN な N

【「れんしゅう編」の練習】

- 6-2 わたしは先生です
6-4 名前を書いてください